

- この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けいただくためにこの取付説明書をよくお読みください。（形名により図が一部異なります。）
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。
- 別売部品をご利用ください。（詳しくはカタログをごらんください。）

安全上のご注意

- 取付の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
	警告
	注意

図記号の例

表 示	図記号の意味
	改造禁止
	アースを接続する

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書と共同にお客様で保管いただくように依頼してください。

警告

	改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。
	修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしない 火災・感電・けがの原因になります。 ※：修理はお買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
	アースは確実に取りつける 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。アースの取付は販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属性ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付ける 漏電した場合、火災の原因となります。
	内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
	煙突排気の燃焼器具がある住宅に据えつけるときは、十分な大きな空気取り入れ口をつける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
	電源は交流 100V を使う 交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。

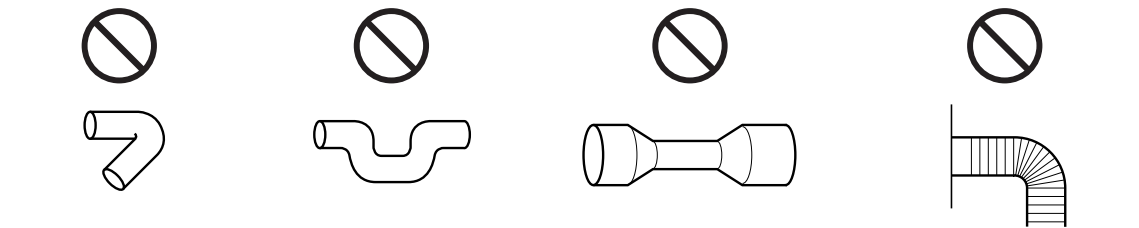
注意

	浴室には壁スイッチを取りつけない 火災・感電の原因になります。
	炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取り付けない 火災の原因になります。
	強度のある場所に確実に取りつける 落下による、けがの原因になります。
	化粧枠や部品は確実に取りつける 落下による、けがの原因になります。
	電気工事は必ず電気工事店に依頼する 電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行う電源電線の接続は機械的な方法で確実に接続する火災の原因になります。
	取付、お手入れの際は必ず手袋を着用する 手袋を着用しないとけがの原因になります。

取付上のお願ひ

- 次のような場所には取り付けないでください。
 1. 高温（40℃以上）になる場所
 - ①ガスレンジの真上
 - ②ガス湯沸器の真上（横方向へ50cm以上離してください。）
 - ③換気機能のない浴室乾燥機を使用する浴室
 2. 台所など油煙の多い場所
 3. 腐蝕性ガスの発生する場所
- 点検口を必ず設けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。

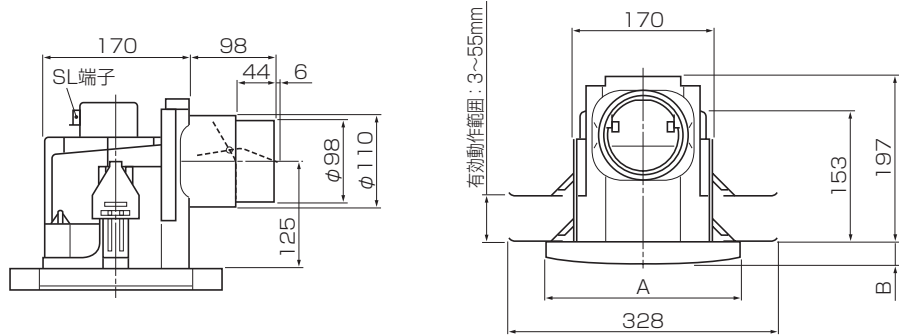
- (1) 極端な曲げ (2) 多数回の曲げ (3) 接続ダクト径を極端に小さくする (4) 排気口のすぐ近くでの曲げ



- ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。
シャッターが開かなくなる恐れがあります。
- 地域によっては樹脂製換気扇およびジャバラが使えないことがあります。
（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。）
- 共同ダクトへ排気するときには、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用することが義務づけられていますので、2mの鋼板立上りがダクトを取り付けるか、システム部材の防火ダンパーを取り付けてください。
- 効率よく排気させるため排気ダクトと同じ大きさの空気の取入口を部屋の反対位置に設けてください。

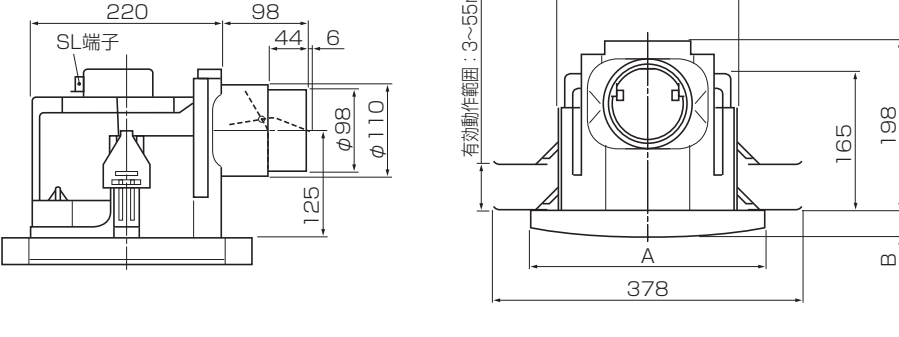
製品寸法

- DVF-A10K4
DVF-A10KC4
DVF-A10C4

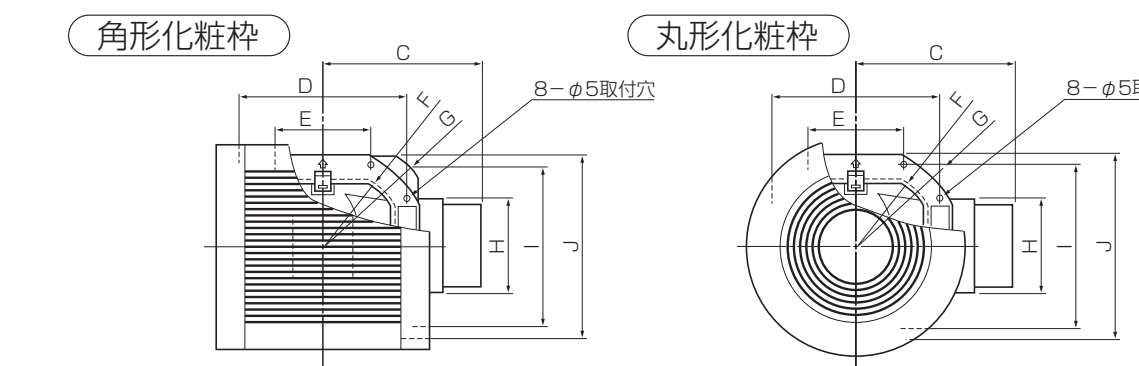


●図は DVF-A10K4 を示す

- DVF-A14K4
DVF-A14KC4
DVF-A14C4



●図は DVF-A14K4 を示す



形 名	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	変込法	適用ダクト径
DVF-A10C4	φ260	305	183	193	110	φ196	φ238	110	193	□217	φ200	呼び径
DVF-A10K4 A10KC4	□244	28					φ272					
DVF-A14C4	φ310	33	208	242.5	120	φ246	φ296	120	242.5	□270	φ250	φ100
DVF-A14K4 A14KC4	□293	31					φ338					

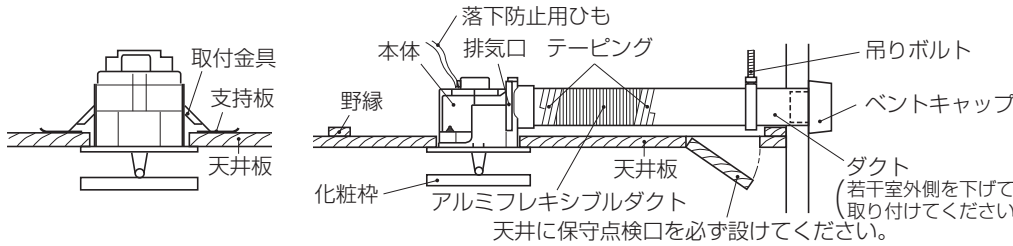
付属品の確認をしてください。

- 落下防止用ひも…………… 1 個
タッピンねじ…………… 1 個

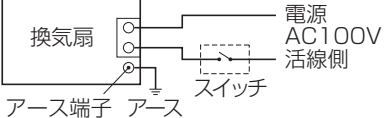
取付方法

- 取付工事前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。

取付図



配線図



接続ダクトはアルミフレキシブルダクト（市販品）を使用してください。（塩ビダクトを使用する時は、木枠を組み、本体をタッピンネジ（市販品）で固定して下さい。）

A. 天井材に取り付けるとき

A-1 取り付け前の注意

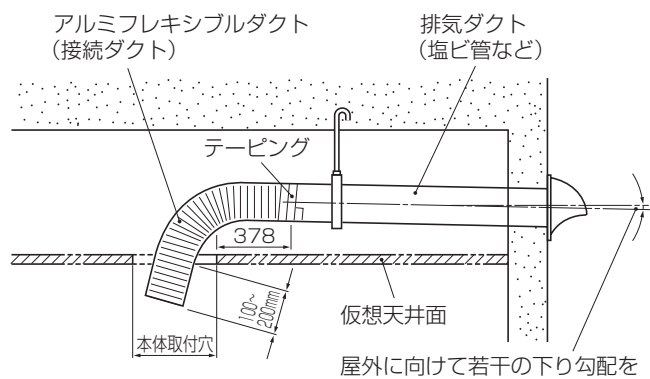
△注意

本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行います。（けがの原因になります）

- 天井材は板厚が 3 ～ 55mm のものを使用してください。
- 天井材の強度は板厚が 9mm 以上の石膏ボード相当以上のものを使用してください。

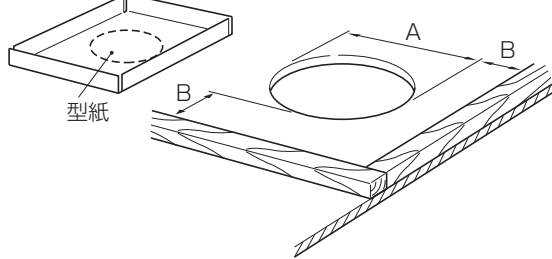
A-2 ダクト工事

- ① 本体取付け予定位置から 1000mm 以上間隔をあけ、壁排気穴まで排気ダクト配管をします。
排気ダクトは結露水の逆流や雨水の侵入を防ぐため屋外に向けて若干の下り勾配をつけてください。
- ② ①で配管した排気ダクトに本体取付け予定位置の室内天井面から 100 ～ 200mm 引き出せる長さのアルミフレキシブルダクトを接続し、アルミテープで風漏れや水漏れのないようにしっかり巻き付けます。



A-3 天井工事

- 天井を張り、野縁から 65mm 以上はなれた位置に穴をあけます。
- 天井材は野縁などにしっかりと固定してください。
 - 丸穴は梱包材の型紙を利用するか、コンパス等で印を付けた後、カッター等で切り取ってください。



- お願い
- 天井材を加工する際には保護具（メガネ・マスク）を着用してください。

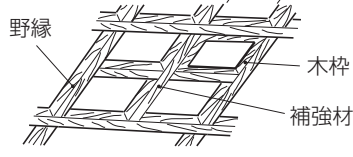
	単位 (mm)	
形 名	A	B
DVF-A10 タイプ	φ 200	65 以上
DVF-A14 タイプ	φ 250	65 以上

B. 木枠に取り付けるとき

B-1 天井工事

木枠内寸に合わせて木枠をつくり野縁に固定します。

- お願い
- 製品の質量に十分耐えるよう木枠を補強材等で野縁に固定します。



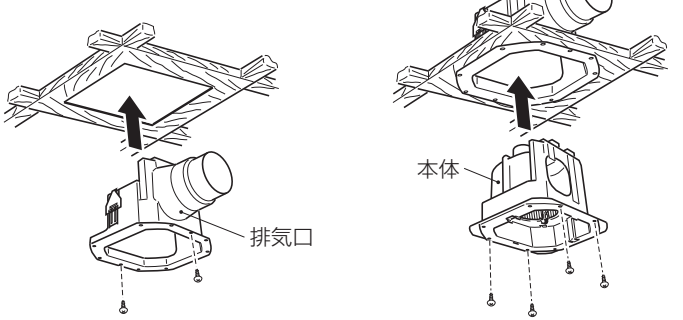
形 名	木枠内寸	木 枠	製品質量
DVF-A10 タイプ	□ 175	約 30 ～	1.5Kg
DVF-A14 タイプ	□ 225	40 角材	2.1Kg

B-2 排気口の取り付け

A-4 ・①②④⑤⑥に従い排気口を取り付けます。

B-3 落下防止用ひも、本体の取り付け

A-5、A-7 を参照して下さい。また、排気口、本体の取り付けは、タッピンねじ（市販品・ステンレス製 呼び径 4 長さ 30）で固定することができます。



B-4 電気工事

A-6 に従い電源コードとアース線を接続します。

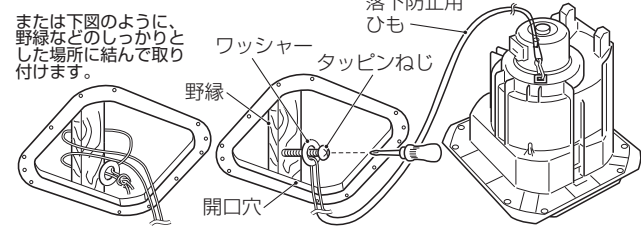
A-4 排気口の取り付け

- ① 本体の本体取付金具と本体のフランジ部を強くはさみ排気口を取り外します。
裏側へは手をかけないでください。排気口が外れません。
- ② 支持板のテープを外し、支持板がスリットの最上部で固定されていることを確認します。
- ③ アルミフレキシブルダクトを室内に引き込み排気口と接合させテープングします。
- ④ 排気口を天井材の開口穴になめめに挿入します。
- ⑤ 排気口のフランジを支えながら取付金具のトッテを押し下げます。（2ヶ所）
- ⑥ 排気口のフランジと取付金具のトッテを強くはさんで天井材まで引き下げ確実に固定します。

- お願い
- 支持板が天井面に密着していることを確認してください。野縁などに斜めに乗り上げる場合は排気口を 90° 回転させ、野縁を避けるように固定してください。

A-5 落下防止用ひもの取付

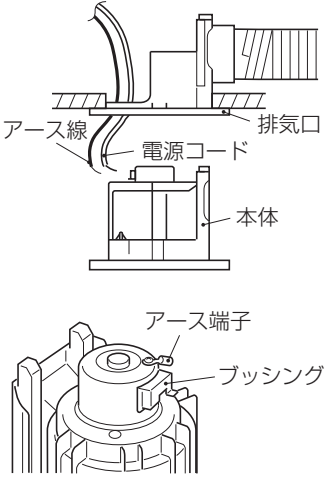
- ① 天井材にあけた開口穴から 30cm 以内の野縁などに、落下防止用ひも（1 個）のワッシャーを付属のタッピンネジ（1 個）により取り付けます。



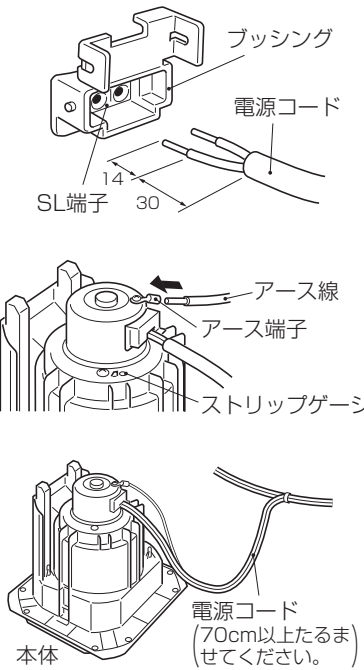
- お願い
- 落下防止のために、必ず落下防止用ひもを野縁などに取り付けてください。

A-6 電気工事

- ① 電源コード（VVF ケーブル φ 1.6、φ 2）とアース線を室内に引き込みます。
- ② 本体上部のプッシングの蓋をあけます。
- ③ SL 端子に電源コード（VVF ケーブル φ 1.6、φ 2）の芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。
（電源被ふくを本体上部にあるストリッププグージにより 14mm むいてください。むきむき許容範囲は、12 ～ 16mm です。）



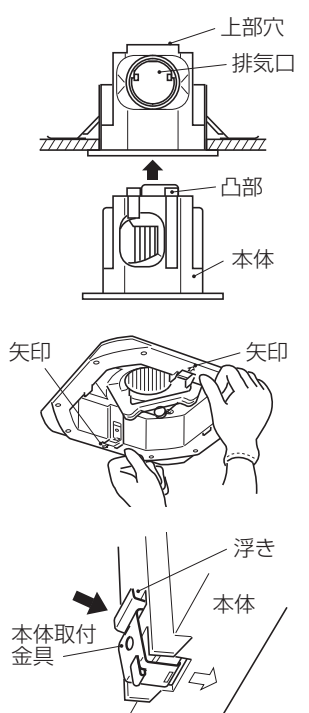
- 差し込み後、電源コードが抜けないことを確認してください。
- ④ プッシングの蓋を閉じます。
- ⑤ アース端子にアース線を取り付けます。



- お願い
- 本体枠の取り外しができるよう電源コードおよびアース線は本体部付近で 70cm 以上たませてください。
 - スイッチは必ず活線側に取り付けてください。

A-7 本体の取り付け

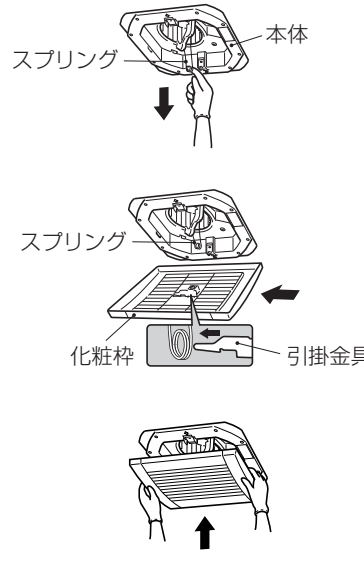
- ① 本体を排気口へ挿入し、排気口の上部穴に本体の凸部をはめ込みます。
- ② 本体フランジ部にある矢印（2ヶ所）付近を押すと「パチン」と音がして固定されます。



- お願い
- 落下防止用ひもの余分なたるみは、本体の上のせて排気口へ挿入してください。
 - 本体フランジと天井板にスキマがないことを確認してください。
 - 本体取付金具と本体との浮きがないことを確認してください。また浮きがある場合は、本体取付金具の上端を本体に押しつけてください。

A-8 化粧枠の取り付け

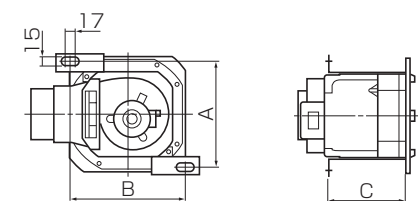
- ① 本体からスプリングを止まるまでゆっくりと真下へ引き出します。
- ② スプリングに引掛金具を引っ掛けます。
- ③ 化粧枠をそのままゆっくりとおし上げます。



C. 吊下金具を使用するとき

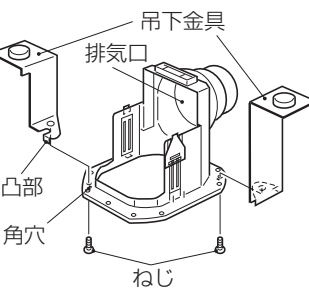
C-1 次図を参照してアンカーボルトを埋め込みます。

	単位 (mm)		
形 名	A	B	C
DVF-A10 タイプ	204	219	146
DVF-A14 タイプ	256	237	146



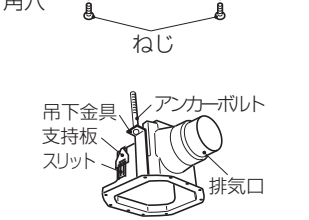
C-2 吊下金具 DV-3T（別売部品）を排気口に取り付けます。

- ① A-4 ・①に従い、排気口を取り外します。
- ② 吊下金具の凸部を排気口の角穴にはめ込みます。（2ヶ所）
- ③ 排気口下側よりねじ（2本）で確実に固定します。



C-3 排気口をアンカーボルトに取り付けます。

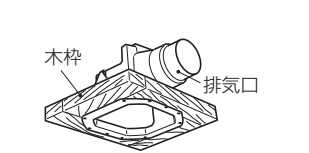
- お願い
- 本体が水平になるように取り付けてください。
 - 支持板がスリットの最上部で固定されていることを確認してください。



C-4 排気口に合わせて木枠を組み付けます。

C-5 排気口の取り付け

A-4 ・②⑤⑥に従い排気口を取り付けます。



C-6 以後の取り付けは B-3、4、5、6、7 を参照してください。

以上で取り付け完了です

- つぎの点検を行ない異常がないか確認してください。
- 製品の取付強度が十分なこと。
 - 運転したとき異常音、異常振動がないこと。
 - 化粧枠が確実に取り付けられていること。